

第3回 同位体環境学 シンポジウム

2013.
12.17^火-18^水

総合地球環境学研究所 講演室

京都市北区上賀茂本山 457-4

地球研が期待されているアジアにおける
Future Earth 研究への貢献に向けて、
同位体環境学の展望を考える。

主催



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

後援

京都大学生態学研究センター
名古屋大学地球水循環研究センター



12/17^火 10:00~17:30

10:00~10:30 同位体環境学の過去・現在・未来
中野孝教（総合地球環境学研究所）

10:30~11:50 同位体比と化学種の複合的解釈に
基づく分子環境地球化学
高橋嘉夫（広島大学理学研究科）

13:00~14:20 海洋の微量金属元素組成と
安定同位体比の分布の可視化
宗林由樹（京都大学化学研究所）

14:30~16:30 ポスター発表（口頭）

16:30~17:30 ポスターセッション

12/18^水 9:00~16:00

9:00~10:20 IAEA における環境同位体研究
—モニタリングネットワークと
地下水年代測定
松本拓也（国際原子力機関）

10:20~11:40 陸域生態系における物質動態研究
の現状と体制
—長期生態学研究（LTER）と全球
陸域研究計画（Global Land Project）
柴田英昭（北海道大学北方生物圏
フィールド科学センター）

13:00~14:00 誰でも最先端の同位体情報を手に
入れることができる質量分析装置
の開発
平田岳史（京都大学理学研究科）

14:00~15:00 同位体手法を用いた食物網研究の
現状と展望
陀安一郎（京都大学生態学研究センター）

15:00~16:00 総合討論

